

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 日

協議会名:池田町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>ワインタクシー株式会社</p>	<p>運行路線名:循環線 運行区間:役場～池田駅～役場 運行回数:1日7便 運賃:1回100円(小中学生50円、乳幼児無料) 【車両減価償却費等国庫補助】</p>	<p>利便性の向上を図るため、各種会合等を活用し、利用状況や利用者ニーズの把握に努めている。 平成30年度における運行系統の見直し、平成31年度においてもバス停留所の新設により、路線を一部変更している。 令和2～3年度については路線の見直し等を行っていないが、令和4年度に新設の公共施設へバス停留所を新設、令和5年度に池田高校や池田高校近隣の住宅街へバス停留所を新設するなど、路線の一部を変更し、利用者の利便性向上と新たな顧客層の掘り起こしを図った。 また、令和6年度には、池田高校の登下校時間とJRやバスとの接続時間に則した時刻表に改正し、さらなる利用者増を図った。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>○あいバス運行に係る目標・効果達成状況 1)延べ利用者数:9,010人【目標7,800人】 2)収支率:4.5%【目標4.1%】 3)公的資金投入額:7,499千円【目標8,500千円】 4)帯広陸別線への乗り換え人数:不明【目標2人】 5)JRへの乗り換え人数:不明【目標1人】 ○車両の取得に係る目標・効果達成状況 1)延べ利用者数:9,010人【目標7,800人以上】 2)収支率:4.5%【目標3.9%以上】 3)公的資金投入額:7,499千円【目標9,100千円以下】 すべての項目において、目標を上回ることができた。 令和6年3月に池田町地域公共交通計画を策定したことにより、国庫補助金上限額が増額し、「3)公的資金(町費)投入額」を例年より抑えることができた。 地域間幹線系統(帯広陸別線等)と支線のネットワークが構築され、広域的な移動を支援することができた。 池田町市街地の交通空白地域を解消することで、交通弱者の買い物や通院、通学等の生活に関する移動手段が確保されたとともに、高齢者等が積極的に外出する機会の創出に寄与することができた。</p>	<p>今後も引き続き、利用状況や利用者ニーズを踏まえたバス路線への改善に努め、効率的な事業の推進を図る。また、町ホームページ等への路線図時刻表の掲示により、住民に対してコミバスに関する情報を周知する。 さらに、池田町地域公共交通活性化協議会により策定された池田町地域公共交通計画に基づき、農村部交通の確保に向けた検討や運行状況の見える化等、より利用しやすい交通機関となるよう改善を図っていく。 なお、令和6年度中に運行内容の見直しを行い、令和7年10月から新しい路線・時刻表によりコミバスの運行を開始している。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 日

協議会名: 池田町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>ワインタクシー株式会社</p>	<p>運行路線名: 循環線 運行区間: 役場～池田駅～役場 運行回数: 1日7便 運賃: 1回100円(小中学生50円、乳幼児無料) 【車両減価償却費等国庫補助】</p>	<p>利便性の向上を図るため、各種会合等を活用し、利用状況や利用者ニーズの把握に努めている。 平成30年度における運行系統の見直し、平成31年度においてもバス停留所の新設により、路線を一部変更している。 令和2～3年度については路線の見直し等を行っていないが、令和4年度に新設の公共施設へバス停留所を新設、令和5年度に池田高校や池田高校近隣の住宅街へバス停留所を新設するなど、路線の一部を変更し、利用者の利便性向上と新たな顧客層の掘り起こしを図った。 また、令和6年度には、池田高校の登下校時間とJRやバスとの接続時間に則した時刻表に改正し、さらなる利用者増を図った。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>○あいバス運行に係る目標・効果達成状況 1) 延べ利用者数: 9,010人【目標7,800人】 2) 収支率: 4.5%【目標4.1%】 3) 公的資金投入額: 7,499千円【目標8,500千円】 4) 帯広陸別線への乗り換え人数: 不明【目標2人】 5) JRへの乗り換え人数: 不明【目標1人】</p> <p>○車両の取得に係る目標・効果達成状況 1) 延べ利用者数: 9,010人【目標7,800人以上】 2) 収支率: 4.5%【目標3.9%以上】 3) 公的資金投入額: 7,499千円【目標9,100千円以下】</p> <p>すべての項目において、目標を上回ることができた。 令和6年3月に池田町地域公共交通計画を策定したことにより、国庫補助金上限額が増額し、「3) 公的資金(町費)投入額」を例年より抑えることができた。 地域間幹線系統(帯広陸別線等)と支線のネットワークが構築され、広域的な移動を支援することができた。 池田町市街地の交通空白地域を解消することで、交通弱者の買い物や通院、通学等の生活に関する移動手段が確保されたとともに、高齢者等が積極的に外出する機会の創出に寄与することができた。</p>	<p>今後も引き続き、利用状況や利用者ニーズを踏まえたバス路線への改善に努め、効率的な事業の推進を図る。また、町ホームページ等への路線図時刻表の掲示により、住民に対してコミバスに関する情報を周知する。 さらに、池田町地域公共交通活性化協議会により策定された池田町地域公共交通計画に基づき、農村部交通の確保に向けた検討や運行状況の見える化等、より利用しやすい交通機関となるよう改善を図っていく。 なお、令和6年度中に運行内容の見直しを行い、令和7年10月から新しい路線・時刻表によりコミバスの運行を開始している。</p>